

00847

# 鳥取縣公報

第九百十四號

昭和十三年三月二十九日

火曜日

## 訓令

◇鳥取縣訓令甲第六號

公立	公立	公立	公立	公立
中等	小	青年	立	立
學校	學	學	幼	立
	校	校	稚	立
			園	

鳥取縣公立學校教員制服規程左ノ通定ム

昭和十三年三月二十九日

鳥取縣知事 立田清辰

鳥取縣公立學校教員制服規程

00849

第一條 公立學校教員ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別記制式ニ依ル制服ヲ着用スベシ但シ病氣其ノ他已ムヲ得ザル事情アルトキハ學校長ノ許可ヲ得テ制服ヲ着用セザルコトヲ得就職後二年ヲ經過セザルトキ亦同ジ

第二條 禮服用ヲ要スル場合ニ於テモ制服ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

第三條 縣ノ教育事務ニ従事スル職員、公立學校書記、私立學校教職員、幼稚園職員、學校看護婦等ハ本規程ニ依ル制服ヲ着用スルコトヲ得

附 則

本規程ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ現ニ在職スル者ハ昭和十六年三月三十一日迄ハ従前ノ服裝ニ依ルコトヲ得

徽章ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ佩用スベシ

鳥取縣公立學校教員服制式

男 子

上 衣	型	夏冬共ニ折襟ノ脊廣
	地 質	ステープルファイバークラ本体トス
色	合	黒 無 地

00849

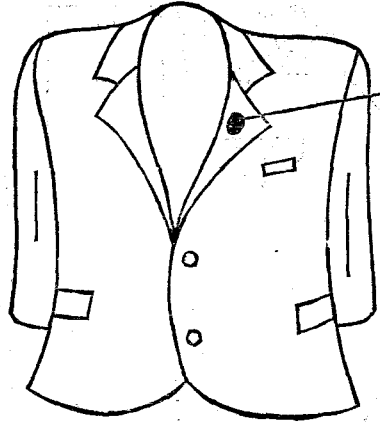
中 (チヨツキ) 衣	徽 章	本縣所定ノモノヲ左襟ニ附ス
	鈕	服ト畧同色ノ非金屬性
袴	型	通 常
	地 質	上衣ニ同ジ
帽子、靴	色 合	上衣ニ同ジ夏ハ之ヲ省キ又ハ白無地ヲ着用スルコトヲ得
	型	長 袴
女 子	地 質	上衣ニ同ジ
	色 合	上衣ニ同ジ夏ハ白無地ヲ着用スルコトヲ得
上 (コート) 衣	型	通 常
	地 質	冬ハスーツ折襟ノ脊廣、夏ハツイピース紺ノコートヲ月フルコトヲ得

00851

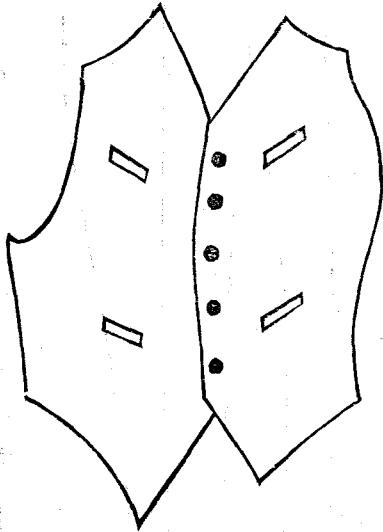
男子上衣

(前)

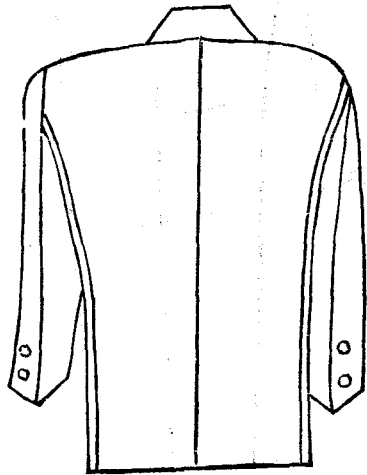
教員徽章



男子中衣



(背)



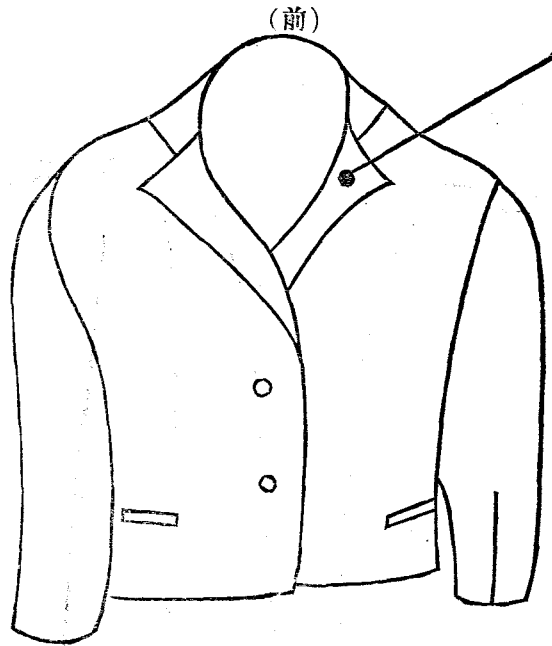
00850

備考

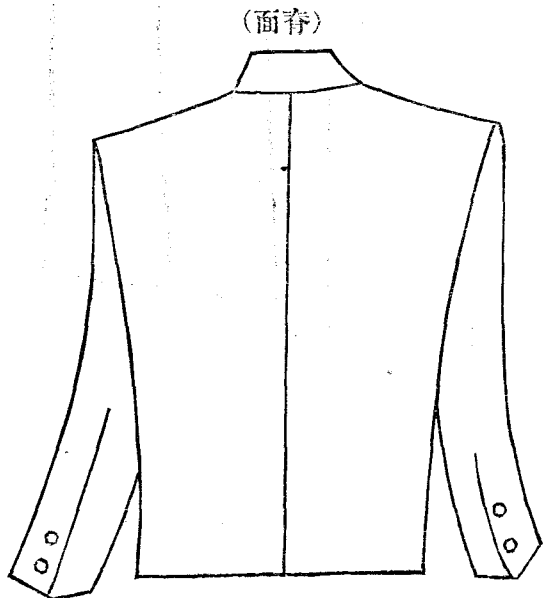
教員徽章ハ追テ公示ス

靴	袴 (スカート)		中 (ブラウス)衣			徽章	色合
	型	色地	型	色地	型		
通常帽子ヲ用ヒルトキ亦同ジ	上衣ニ同ジ	上衣ニ同ジ	前二ツ襷	白色	襟ハローリングカラー及之ニ類似ノ型 前明ハ堅襟附飾ボタン(ネクタイヲ用ヒズ) ポプリン、ベンベルグ、富士絹、ビケ、縮等	本縣所定ノモノヲ左襟ニ附ス	濃紺ノ無地

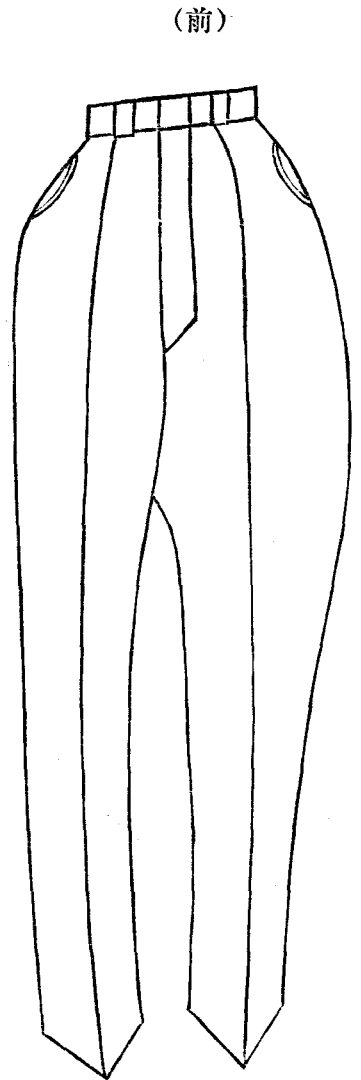
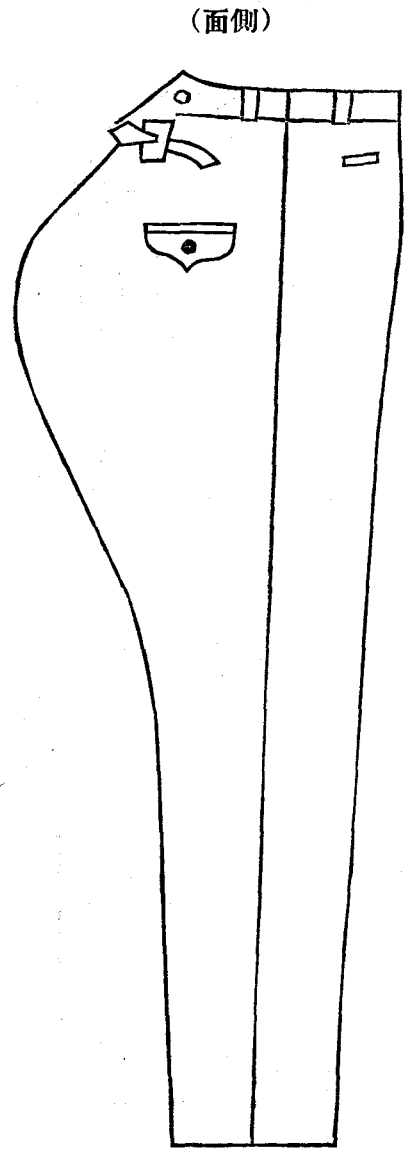
00853



教員徽章  
女子上衣



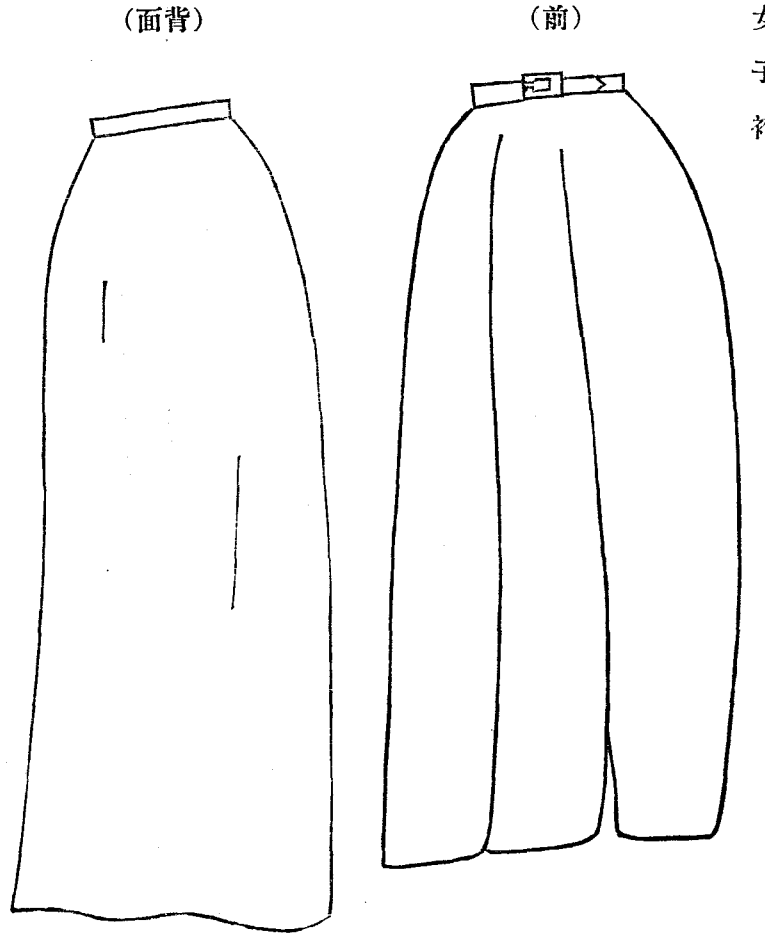
00853



男子袴

裾ハダブルモ可

女子袴 スカート



告示

○鳥取縣告示第百六十八號  
 青年學校令ニ依リ左記私立青年學校ヲ昭和十三年三月二十五日設置ノ件認可セリ  
 昭和十三年三月二十九日

- 一名 稱 鳥取縣米子市私立伯西女子青年學校 立 田 清 辰
- 二位 置 鳥取縣米子市旗ヶ崎五百七十八番地
- 三 開校年月日 昭和十三年四月一日

◆鳥取縣告示第百六十九號  
 公有水面埋立ノ件左記ノ通許可セリ  
 昭和十三年三月二十九日

- 鳥取縣知事 立 田 清 辰
- 鳥取縣知事
- 一 埋立ノ免許ヲ受ケタル者
- 一 埋立ノ場所及其ノ面積 鳥 取 縣 知 事
- 一 自米子市灘町一丁目一四番地先至同町三丁目一五四番地先公有水面千六百一坪三合七勺
- 一 埋立ノ目的 米子港修築工事ニ伴フ物揚場造成
- 一 工事着手期間 免許ノ日ヨリ壹ヶ月以内
- 一 工事竣功期間 着手ノ日ヨリ三ヶ年以内

00856

鳥取縣告示第七十號

市街地建築物法施行細則第二十五條ニ依リ左ノ通假設建築物建築ノ件許可セリ  
昭和十三年三月二十九日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

一 建築主ノ住所氏名 兵庫縣朝來郡東河村宮二十六番屋敷 夜 久 義 市 郎

一 建築物ノ所在地 鳥取市西町二百十九番地ノ一

一 用 途 住 宅

一 構造 種 別 木造瓦葺二階建

一 建築物ノ面積 建築面積 八二、二五〇平方米  
突出セル部分 三、三二五平方米

一 命 令 事 項

一 本建築物ノ存續期間ハ都市計劃事業實施迄トス

一 前項ノ存續期限滿了ノ時ハ都市計劃事業實施者ノ指定スル期日内ニ無償ニテ本建築物ヲ除却スベシ

00857

一 本建築物ヲ他人へ讓渡シタル場合ハ十日以内ニ届出ツベシ  
一 知事必要アリト認ムルトキハ本命令書ノ條項ヲ増減若ハ變更スルコトアルベシ

鳥取縣告示第七十一號

當管内ニ於ケル健康保險醫左ノ通異動アリタリ

昭和十三年三月二十九日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

診療所所在地	氏 名	異動事項	異 動 年 月 日
米子市中町	稻 田 信 太 郎	指定取消	昭和十三年三月二十六日
西伯郡淀江町	石 原 正 半	同	昭和十三年三月二十六日

鳥取縣告示第七十二號

當管内ニ於ケル健康保險齒科醫左ノ通異動アリタリ

昭和十三年三月二十九日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

00853

診療所所在地	氏名	異動事項	異動年月日
東伯郡日下村大字上井	岸田實	管轄外移轉	昭和十三年二月十四日

### 彙報

朝鮮總督府鐵道局現業員ヲ左記要項ニ依リ募集セラル

#### 朝鮮總督府鐵道局現業員募集要項

- 一 求 人 者 朝鮮總督府鐵道局庶務課(京城府、龍山)
- 一 採用人員 鳥取縣三〇人 其ノ他七二〇人  
計七五〇人
- 一 職務並從業場
  - 一 驛從事員、機關庫從事員、保線從事員、電氣從事員
  - 右ハ朝鮮總督府鐵道局管下各地ニ配屬勤務スルモノトス
- 一 採用條件
  - 1 教育程度 尋常小學校以上卒業者又ハ青年學校卒業者 但シ機關庫從事員ハ高等小學校卒業

00859

- 業者トス(中等學校以上卒業者ヲ除ク)
- 2 年 齡 本年三月ニ於テ算年十六歳以上二十七歳以下ノ者但シ機關庫從事員ハ算年二十歳以下トス
- 3 人 物 歸郷軍人(年齢相當者)ヲ初メ堅忍不拔ノ有爲ナル青少年ヲ求ム
- 4 身体検査 身体強健勤務ニ堪ヘ得ル左表身体検査標準ニ合格シタル者  
(検査ハ銓衡日當日施行ス)

種別	區分	保線從事員			
		驛從事員	機關庫從事員	電氣從事員	滿二十歳以上 滿十五歳以上
身長	一五〇糎	一五五	一五〇	一五五	一四五
体重	四五斤	五〇	四五	五五	五〇
胸圍	七五糎	八〇	七五	八〇	七五
視力	裸眼各一、〇以上	同	同	同	同
其他	全身發育佳良ニシテ各機能障害其ノ他疾患ナキモノ				

#### 一 採用方法

00860

1 提出書類

- イ 本人自筆履歷書(餘白ニ第一志望何々、第二志望何々ト記載ノコト)
- ロ 學校卒業成績表(學科成績及卒業席次總員ヲ記入シタルモノ)
- ハ 市町村長ノ身分證明書

2 銓衡方法

- イ 書類提出期限 四月三日正午迄ニ到着ノコト
- ロ 提出 先 市町村役場又ハ最寄職業紹介所
- ハ 銓衡試験ハ縣係員、職業紹介所員立合ノ下ニ朝鮮總督府鐵道局職員ニ於テ(鐵道醫同行)口述試験及身体検査ヲ行フ

3 試験地並日時

東伯郡倉吉町成徳尋常高等小學校 四月七日午前九時

4 銓衡當日應募者ニ對スル手當

當日應募者一人ニ付晝食代トシテ五十錢ヲ支給ス

一 採用後ノ待遇

1 身分 鐵道局備人トシテ採用シ本人ノ努力次第ニ依リ將來雇員ニ昇進尙判任官トシテ任用

00861

サレ得ルモノトス

2 採用後ノ給料

イ 初任給

年齢別	區分	機電氣從事員		驛從事員		保線從事員	
		庫	員	員	員	卒	卒
滿十五歲以上	同	日給 一、一五	日給 一、〇五	日給 一、一四	日給 一、五〇	日給 一、四〇	日給 一、四〇
同十六歲以上	同	一、一八	一、〇八	一、一四	一、五三	一、四三	一、四三
同十七歲以上	同	一、二一	一、一一	一、一四	一、五六	一、四六	一、四六
同十八歲以上	同	一、二四	一、一四	一、一四	一、五九	一、四九	一、四九
同十九歲以上	同	一、二七	一、一七	一、一七	一、六二	一、五二	一、五二
同二十歲以上	同	一、三〇	一、二〇	一、二〇	一、六五	一、五五	一、五五

備考 給料算出ハ滿年ニ依ル

ロ 昇給 採用後逐次昇給セシム

ハ 賞與金 六月、十二月ノ二期ニ支給ス



00862

ニ 宿舍料 家族同伴者ニシテ官舎外ニ居住ノ場合ハ勤務地ニ依リ月額八圓、六圓、四圓  
 ヲ支給ス 但シ獨身者ハ前額ノ半額トス

ホ 被 服 貸與ス

ヘ 其ノ他共濟組合、無賃乘車證發行等福利施設アリ

一 就職旅行

1 赴任旅費 就職者ニ 左記旅費ヲ支給ス

一人宛 二十五圓

2 赴任日取 大休四月下旬以ノ豫定

一 試験當日受験場ニ鉛筆又ハ万年筆及印鑑ヲ持參ノコト

一 其ノ他職務内容等詳細ニ付テハ縣社會課職業係又ハ職業紹介所へ問合セノコト

三月三十日發行「週報」掲載内容左ノ通

週報第七十六號掲載内容

- 一 八紘一字の精神 (教 學 局)
- 一 武器なき戦士、宣撫班 (陸 軍 省 新 聞 班)
- 一 津浦戦線の進展 (陸 軍 省 新 聞 班)

00863

- 一 長江沿岸の掃蕩 (海軍省海軍軍事普及部)
- 一 新政權と存留華僑 (内 務 省)
- 一 ソ聯裁判の内情 (外 務 省 情 報 部)
- 一 第七十三回帝國議會の概観 (内閣官房總務課)